

膵温存十二指腸切除術と膵頭十二指腸切除術の比較検討

1. 研究の対象

1992 年 1 月から 2014 年 12 月までに、国立がん研究センター東病院で十二指腸領域に発生した腫瘍に対して膵温存十二指腸切除術を行った 30 名と、2009 年 1 月から 2014 年 12 月までに、膵頭十二指腸切除術を行った 265 名を対象とします。

2. 研究の概要

膵温存十二指腸切除術は、膵頭十二指腸切除術よりも侵襲が少なく、膵臓の機能温存の利点があると考えられています。しかし、本当に膵温存十二指腸切除術が、膵頭十二指腸切除術よりも低侵襲であり、膵臓の機能温存の利点があるのかは、十分に検討されていません。本研究では、膵温存十二指腸切除術と膵頭十二指腸切除術の術後早期・晩期合併症について比較検討することで、膵温存十二指腸切除術が本当に低侵襲であり、膵臓の機能温存の利点があるのかを詳しく検討します。

3. 研究の意義と目的

十二指腸領域に発生した腫瘍に対しては一般的に膵頭十二指腸切除術が選択されますが、疾患によっては膵温存十二指腸切除術も選択肢のひとつになります。膵温存十二指腸切除術は、膵頭十二指腸切除術よりも侵襲が少なく、膵臓の機能温存の利点があると考えられています。本研究では、膵温存十二指腸切除術と膵頭十二指腸切除術の術後早期・晩期合併症について比較検討することで、膵温存十二指腸切除術が本当に低侵襲であり、膵臓の機能温存の利点があるのかを詳しく検討します。

膵温存十二指腸切除術の低侵襲性と、臓器温存の利点を検討し、患者さん一人ひとりにより良い治療を行うための情報を明らかにすることを目指します。この結果は、今後十二指腸領域に発生した腫瘍に対して手術を受ける多くの患者さんに役に立つ情報であると考えています。

4. 方法

1992年1月から2014年12月までに国立がん研究センター東病院肝胆膵外科で十二指腸領域に発生した腫瘍に対して手術が行われた患者さんの診療録から必要な情報を収集し、検証します。収集したデータは国立がん研究センター東病院肝胆膵外科の下で、期限を定めずに国立がん研究センター内に厳重に保管します。

5. 個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療録等には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は、研究登録時に発行される登録番号、生年月日、カルテ番号を使って管理するため、患者さんの氏名などの個人情報が院外に出ることはありません。また患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますのでいつでも下記まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 中山雄介

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 科長 小西 大

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724